

期 間： 令和5年10月16日（月） 午後5時00分より

場 所： 真鶴町民センター 第2会議室

出席者： 瀬瀬 教育長、瀧本 委員（教育長職務代理者）、
松野 委員、草柳 委員、岡田 委員、
高橋 教育課長、塩田 学校教育専任課長兼指導主事、
青木 教育総務係長、大竹 課長補佐兼社会教育係長、
書記：小澤 主任主事

欠席者： なし

傍聴者： なし

議事

1 教育長のあいさつ

2 議題

協議事項

学力調査等の公表について

3 報告事項

○学校教育関係について

○社会教育・生涯学習関係について

瀬瀬教育長：

それでは定刻となりました。ただいまの出席者数は5名です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定める定足数に達しておりますので、これより令和5年度真鶴町教育委員会10月定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

だんだんと朝夕涼しくなって、秋らしい季節がやってまいりました。委員の皆様、お忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。9月、10月、11月と秋のスポーツや文化行事が目白押し、真っ盛りです。9月30日にひなづる幼稚園で運動会があり、その次の週に町民運動会があり、先日、まなづる小学校で運動会がありました。3つとも天候の影響を受けず、幼稚園はまだ暑いぐらいでしたが、本当に運動会日和で素晴らしい会ができたと思っております。この後も中学校では今週の金曜日が学習活動発表会で、10月31日が町民文化祭の開会式。1週間くらいあるということですので、また委員の皆様にもご参加、見学等していただければありがたいなと思っております。

また、冬の1つの行事で半島駅伝がございました。後ほど、担当から話があるかと思いますが、先日、実行委員会が開かれまして、今年度も半島駅伝については中止となりました。「今の体制では運営が難しいだろう」ということで決定されました。「来年度に向けてきちんと予算を組んで、計測するチップを使ってきちんと測れるようにお金を掛けてなど、少ない人数で体制が整えられるように。」と意見を頂戴しましたので、その辺りも来年度の予算要望の中に組み入れようと考えているところでございます。本当に、コロナ禍で出来なかったいろいろな事がこれから再開されていきますが、前と同じような体制ではなく、これから新しいやり方で進めていかないといけないかなと思っております。今日もいろいろ議事がございますが、よろしくお願いいたします。

それでは案件に入らせていただきます。では、次第に沿って進めていきます。協議事項、今日は1つだけです。学力調査等の公表について、事務局から提案をお願いいたします。

塩田指導主事：

はい。私からよろしくお願いいたします。『学力調査等の公表について(案)』という資料をご覧ください。一番上の結論にもありますが、「令和5年度全国学力・学習状況調査結果の学校ごとの数値公表はしない。」と考えております。また、「※本町は、町の公表＝学校の公表になってしまうので、町の公表もしない。」となっております。数値を公表しない理由としましては、真ん中①から③に書いてありますが、①学校が調査結果を学力の向上策、授業改善等に反映することが目的なので、学校が詳細を把握し検証することを第一義とすること。②本町の学校教育の重点として、共に学び共に育つ教育を重視している。ということ、③数値公表から、子どもたちの人数が少ないことから個人の特定がしやすい状況。そのことから、学校に対する見方や町民の学校に対する理解が一面的になり、多様な価値観が損なわれる恐れがあるということ、子どもたちの自尊感情の低下による児童生徒指導上の課題が深刻化する恐れがあるということ。以上のことから「公表を

しない」と考えております。学力検証委員会が明日また開かれます。「そこでの検証と検証結果を反映した学校の授業改善に係る組織的な取組を促すこと、さらに検証内容を保護者に伝え、町ホームページに掲載すること、これらを継続することにより、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組を図ってまいりたいと思います」。学力調査等の公表について、ご承認いただければと思います。よろしくお願いたします。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。ただ今、学力調査等の公表について「数値を公表しない」ということで理由を付けて説明がございましたが、ご意見ご質問がありましたらお願いたします。

瀧本委員： はい。

瀬瀬教育長： はい。お願いたします。

瀧本委員： 「公表しない」は賛成です。結論の中にも無くなってしまっていますが、なぜこの学力調査を国が始めたのか。やはり「いろいろな地域格差などがあって、学校に行政として、後ろ立てとして何をやっていくかを見えるようにしていきたい」ということで、この結果を受けての学校の授業改善も当然ありますが、それプラス「行政として、どういうフォローができるのか。支援ができるのか」。そこを見ていきたいという話が一番最初にあったと思います。そういうことがあって、学校の先生方も協力をしてやってきていると思いますが、いつの間にか授業改善がメインになってしまって、これは結局、「先生方の指導が悪いから、お宅の学校は成績が悪いんですよ。」と言っているようなものですから、逆の効果が出てしまうと思います。公表している所は公表している所で、でも、公表してないとしても、先生方にとってはそういう見方をされていると思ってしまうから、「絶対に行政としてやる」といった時のねらいを抜かしてしまうと、本末転倒の学力調査を実施することになっていってしまうと思います。ここは毎年言っていますが、あえてまた話をさせてもらいました。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。どうですか。学力検証委員会では行政の要望など、そのようなことも話題として出てくるのですか。

塩田指導主事： 学習の課題に対して、「子どもたちの活字離れ」のところがあります。そこに対する電子書籍や現在「1人1台端末」の学習が進んでいますが、そこでの行政からのサポートへのお願など、そのようなことは出ておりますので、そういったことを今後検証していきたいと考えております。

瀬瀬教育長： 確かに、その辺りは今、瀧本委員が言われたように、「学校の責任で」となって

しまうと先生たちの負担がさらに増えるばかりで負担感が募ってしまうので、それを行政側として、自分も含めて「どうフォローできるのか」というところまで考えていかななくてはいけないでしょうし、明日、学力検証委員会があるとのことですので、また先生たちの方からの要望などを聞き出してもらえればありがたいと思います。ありがとうございます。それと関連してあるいは他の意見でも構いませんが何かございますか。

瀧本委員： 関連して、もう1つ言わせていただくと、去年も話しましたが、町で全部フォローする。行政のもののフォローを町の予算でやる、人材など、それはもう無理だと思います。このやり方自体をもう1回見直すか、初心に帰って、明らかに少ない日本の教育予算について、町の方から県や国といった所に訴えていけるような機会がないかなと、また作ってもらいたいという思いはあります。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。いろいろ集まりがあるところで、また意識していきたいと思います。他はいかがでしょうか。では、結果の公表については提案どおりでよろしいでしょうか。保護者や学校の先生、町民の皆さんも含めて、この検証内容をきちんと公表して、いろいろな所でアピールをしていきたいと思えます。やはり家庭の協力も必要になってくると思えます。全て学校で行うわけにはいかない部分も多くありますので、その辺りも上手に伝えられるように工夫をしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。それでは質疑について、終了したいと思えます。すみません。採決を取らないといけませんでした。協議事項、学力調査等の公表について、挙手により採決をいたします。本案は原案のとおりとすることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

全委員： (全員挙手)

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。全員賛成とみなします。原案のとおり決定いたしました。それでは本日の協議事項については以上ですが、事務局から何かございますか。よろしいですか。委員の皆様から何かありますか。いいでしょうか。では、報告事項に移りたいと思えます。まずは学校教育からお願いします。

青木係長： はい。まず10月の報告になります。5日に校長会を開催し、10日は第3回まなづるっ子自立支援コンサルテーションを開催しました。12日木曜日に、来年新1年生に上がる子どもたちの就学時健診を行いました。33名参加で3名欠席。対象者36名で、1名が区域外で湯河原に行く予定のお子様がいらっしゃいますので、現時点での新1年生は35名を予定しております。14日土曜日は小学校の運動会。晴天の下、無事に開催されました。本日、16日が教育委員会定例会。明日、17日が先ほどもお話がありました学力調査検証委員会及び学校関係者評価委員会で幼稚園を訪問させていただきます。19日木曜日には教育支援委員会を開催します。

20日金曜日、中学校の学習活動発表会が開催されて、その日から27日まで中学校の参観週間になりますので、委員の皆様もお時間がありましたら、ぜひ参観しに行っていただければと思います。24日火曜日には学校関係者評価委員会の中学校訪問が開催されます。

裏面をご覧ください。11月の予定です。6日月曜日に校長会。8日水曜日に小学校就学に向けた交流会を開催いたします。13日月曜日に教頭会。18日土曜日には第2回目となる「教育を語り合う会」を開催します。今回のテーマは『真鶴町の教育の強みって何だろう?』と『一貫教育校に望むことは?不安なことは?』の2つのテーマで開催させていただきます。時間は午前9時30分から午前11時30分まで。町民センターで行います。20日月曜日から22日まで幼小中合同研究会を開催します。教育委員会定例会は27日を予定しております。30日には、まなづるっ子サポート連絡会議を開催します。以上です。

瀬瀬教育長 :

はい。ありがとうございます。学校教育関係、何かご質問等ありますか。

もしよろしければ、「教育を語り合う会」の第2回目を来月18日にやりますので、来ていただければと思います。前回もそれなりの人数が集まりましたが、「もう少し保護者の方や、現役の方が来てもらえるとうれしいかな。」という声もありましたので、小中学校、園も含めて、もう少しこちらからも働きかけをしていきたいと考えております。いいでしょうか。では、社会教育お願いします。

大竹係長 :

はい。表面をお願いいたします。10月の生涯学習・社会教育関係です。3日には町民運動会における中学生ボランティアに対する説明会を行いました。3名の協力をいただきました。運動会当日は放送係に従事してもらいましたが、状況に応じた的確なアナウンスができていたことには感心させられました。同日には、真鶴半島駅伝競走大会実行委員会を開催いたしました。先ほど教育長からも報告がありましたとおり、今年度の開催は見送りを決定いたしました。また、次年度の開催方法などについても協議いたしました。タスキにチップをつけて、記録等を全て業者委託する形を今検討しております。それらに係る委託料を実行委員会の補助金に上乗せする形で予算要望をする予定でおります。4日には町民文化祭運営委員会を開催しまして、各部門における必要物品などの確認を行っております。5日には町民運動会に従事する職員向け説明会を開催し、7日の前日準備を経て、8日に町民運動会当日を迎えました。当日までに委員様に対する案内の中で、宛名と通知の宛名が違ったりした部分もございまして、大変ご迷惑をお掛けしました。大変申し訳ございませんでした。今年度は従前と違って半日開催といたしまして、自治会対抗を色濃く出すなど、従前と変更した部分がありました。自治会や協力団体の皆様にはご負担をかける形となりましたが、何とか事業としての形にすることができたと考えております。自治会対抗種目5種目とオープン種目2種目の合計7種目を行い、城北自治会が優勝、岩中央自治会が準優勝、丸山自治会が第3位という結果になりました。10日には自治会連合会教育体育部

会・生涯学習実践委員との打合せ会を行い、後期成人学級の内容などを協議しております。後期成人学級につきましては、従前の形に戻す形で2講座の開催も決定しております。11日には文化財審議委員会を開催し、視察研修や『文化財だより』の内容について協議しております。15日には夏休み子どもフェスティバル事業で実施した子ども陶芸教室において、素焼きの段階で作品が割れてしまった児童2名の作り直した作品に色付け作業を行いました。出来上がりにつきましては、町民文化祭の初日に焼き上がる予定で、そのまま展示させていただく予定です。本日、『海に学び海に親しむ場づくり協議会』を開催し、海のルール作りについて協議しました。31日から町民文化祭がスタートいたします。博物館事業として、28日に「ひものづくりとプランクトン観察会」を内容とした海さんぽを開催いたします。また欄外の記載になりますが、学級閉鎖、学年閉鎖などの関係で休止している放課後子どもいきいきクラブを23日から再開いたします。

裏面をお願いいたします。11月です。5日に、おもしろ体験隊の1事業として、スポーツ協会のグラウンドゴルフ部とパークゴルフ部の皆様の協力を得て、グラウンドゴルフ・パークゴルフ体験教室を開催いたします。同日には、町民文化祭が幕を閉じる予定です。12日には松田町において、県青少年指導員大会が開催されます。15日には後期成人学級の第1回目として、国民健康保健診療所職員他を講師として、「ストレッチ運動の体験と終活講座」を内容とした講座を開設いたします。19日には小田原ツアーデーマーチが開催され、湯河原・真鶴コースは真鶴中学校がスタート地点となります。20日には後期成人学級の第2回目として、小田原市職員を講師に迎え、『小田原市のゴミ減量化の取組について』学ぶ講座を開催いたします。22日には町民文化祭の反省会を開催し、次年度に向けた改善点等について協議する予定です。図書館事業といたしましては、18日におはなし会を開催いたします。博物館事業といたしましては、5日に横浜国立大学の実習船たちばなに乗船し、沖合プランクトンの観察を内容とした自然こどもクラブを開催いたします。また、19日、21日には自然こどもクラブと同じ内容ですが、成人を対象とした大人向けの臨海実習を行う予定です。以上でございます。

瀬瀬教育長：

はい。ありがとうございます。では社会教育に関して、何かございましたらお願いします。町民運動会は5年ぶりでした。半島駅伝もそうですが、町民運動会も同じように初めて経験する職員もたくさんいて、事前の打ち合わせや準備は本当に大変だったと思います。半日の開催でしたが、新種目もあり、前日の準備、当日朝の準備、その後の片付け。本当にスタッフがよく動いてくれたなと思っています。当日も午後2時30分くらい、3時くらいでしたか。

大竹係長：

午後2時30分くらいです。

瀬瀬教育長：

午後2時30分くらいに全部が終わりました。お疲れ様でした。他に何か参加された感想などはございますか。

瀧本委員： バスや電車の乗り物があったではないですか。待合場所で町民の皆さんが話していたのですが、「誰が作ったんだ。」「いつ作ったんだ。」などと。それで最後に言っておられたのが「絶対来年も使うんだから、壊しちゃ駄目だよ。上から入っちゃ駄目だよ。こうやって被せて入らないと。」といった話をしていたので、良い所だなと思いました。ありがとうございました。

瀬瀬教育長： ありがとうございました。10年使うつもりできちんと綺麗に畳んで保管をしました。良かったです。丸山代表として、たくさん走っていただいて。あと、いかがですか。他の行事のことも含めてどうぞ。

草柳委員： はい。真鶴にここ数年で移住してきて、子どもが生まれたという人が、ちびっこの駆けっこに出ていて、「すごく楽しかった。こんなに人が集まってるんですね。」と言っておられて。私は全盛期を知っているので、「昔はもっと。」という話をしてしまったのですが、「すごく楽しかった。」という声を聞きました。

瀬瀬教育長： ありがたいです。喜んでもらえて嬉しいですね。これでやる気がまた上がってきたのでは。

大竹係長： はい。また頑張ります。

瀬瀬教育長： しばらくは休んでもらって。あとはいかがです。何かあります。

岡田委員： 親子連れで参加された方が「すごい楽しかった。」と言っていて、「むしろ小中一緒の、地域の人も一緒の運動会でもいいかも。」みたいにおっしゃっている方もいて、そのアイデアも少し面白いかもと思いました。

瀬瀬教育長： 将来的には、そのようなことも考えなくてはいけない時期がきますかね。松野さん、どうですか。

松野委員： いえ、すみません。私は運動会ではなくて、3連休で娘の所に行ってしまったので、失礼しましたけど。家は自治会も抜けてしまいましたから。城口自治会は組織が無いのです。家の所はありませんけど、他の所はありますが。いろいろと難しいですね。僕が住んでいる所は、僕ともう1人が一番下なので。あとはもう大先輩ばかりですので、どこもかしこも立ち行かなくなる。隣組と言いながら、結局は特定の方が組長をやらざるを得ないような状況になってきていて。余計な話になってしまいましたが。なので、すみません。運動会は失礼させてもらいました。盛況で良かったと思います。ありがとうございました。

瀬瀬教育長： はい。うちの所管ではないですが、自治会対抗などを打ち出すと、城口さんのようなケースも「ああ、そうなのか。」といろいろと情報も入ってきましたが、他の地区も選手決めなど、多分苦勞されているところがあると思います。またその辺りもどういうふうに変化するのか、それに合わせながら大会を運営していくようになるのでしょうか。よろしくお願いします。ありがとうございました。

それでは、他に事務局から報告事項ありましたらお願いいたします。はい。お願いします。

青木係長： はい。2点お願いします。まず1点目が、委員の皆様にご配らせていただいたのですが、令和5年度神奈川県市町村教育委員会連合会の研修会の日程です。11月17日金曜日、去年と一緒の茅ヶ崎市民文化会館で開催されます。ご予約を確認していただき、10月中を目途に私の方までメールでも、お電話でも、直接でも、何でも構いませんので、出欠のご連絡をいただければと思います。昨年同様に、直接皆様ご自身で行っていただき、終わり次第、自由に解散という流れでお願いできればと思っております。

2点目になります。先ほど、教育長がおっしゃられていた「教育委員と教職員が語り合う会」。まだ幼稚園、小学校からは連絡が来ていないのですが、中学校からは1日ピンポイントで来ておまして、11月20日月曜日、午後3時45分からお見せしたいというところです。

瀬瀬教育長： そうですか。

青木係長： 部活の無い日。そして、若手職員を中心にお話ができればと、教頭先生からご報告を受けました。

瀬瀬教育長： 中学校は若手職員を集めますという感じですか。

青木係長： はい。

瀬瀬教育長： 委員の皆さんはどうですか。11月20日午後3時30分くらいからの形になりますが、ご予約としては。

瀧本委員： すみません。私は仕事で参加できないので、若手の委員さんたちで。

瀬瀬教育長： 本当にご都合のつく方でいきたいと思っておりますので。草柳さんはどうですか。

草柳委員： まだ予定は無いので。

瀬瀬教育長： とりあえず空けておいてもらってということで、岡田さんはどうですか。

岡田委員： はい。そのまま小学校から中学校に移動します。

瀬瀬教育長： 時間的に大丈夫ですか。

岡田委員： はい。

瀬瀬教育長： 松野さんはどうですか。

松野委員： 大丈夫だと思います。

瀬瀬教育長： 一応、そのつもりで中学校には報告をしておきます。よろしくお願ひします。あまり堅苦しくなくて、「今、中学校はどう？」という感じで話を進めていければと思います。自分もこの日は参加させてもらって、いろいろ進行などのお手伝いをさせてもらいたいと思いますので。この日は自分が駄目かもしれない。無理なら塩田さんにお願ひします。

塩田指導主事： はい。

瀬瀬教育長： この日で中学校は確定したいと思います。ありがとうございます。後はいいですか。

はい。それでは、これで全ての案件が終わりましたので、これをもちまして10月教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

全員： ありがとうございます。